



OKAYAMA PREFECTURAL LIFELONG LEARNING CENTER

平成25年度 **要覧**

三学ぱる岡山



岡山県生涯学習センター

三学ばる岡山



サイピィ

生涯学習とは、生活の向上、職業能力の向上や自己の充実を目指し、家庭、学校、地域社会、職業等のさまざまな場で生涯にわたって習い学ぶことです。

江戸時代の儒学者、佐藤一斎の著した『言志晩録』の中に「しょうにして学まなば、即ち壯すなわにして為なすこと有り。壯そうにして学まなば、即ち老おいて衰おとろえず。老おいて学まなば、即ち死すなわして朽しちず。」という言葉があり、生涯にわたって学習の大切さを説いています。このことは生涯学習が目指すものであることから、生涯学習センター・烏城高等学校・児童会館（平成23年3月閉館）の一带に県民の「少・壮・老」の三世代が仲間（ばる）として集い、楽しく学習や交流ができる親しみやすい生涯学習ゾーンとなるよう「三学ばる岡山」の愛称が付けられました。

平成25年4月には新たに「人と科学の未来館サイピア」が開館し、名称の由来のとおり、人と科学の出会いの場として、また夢にあふれた施設として、当センターの理念を更に推し進めていきます。

この「三学ばる岡山」では、好奇心旺盛な「ばる子」と岡山の「桃・桃太郎」にちなんで名付けられた物知りカラス「こもも」、科学を楽しく教えてくれる「サイピィ」のキャラクターが、広報紙などで生涯学習の御案内をしています。



こもも



ばる子



●岡山県生涯学習センターロゴについて

学びにより生き生きと輝く「生」を送る人を表現しています。

周辺部は明るい太陽の輝きをイメージし、中心部には生涯学習の「生」の字をデザイン化しています。中心部は人に見えると同時に、太陽の光を受けて咲く植物にも見えます。

Contents

1 運営の基本方針	1
2 概 要	
1 組 織	1
2 沿 革	2
3 建設概要	3
4 施設概要	3
5 施設配置図	5
3 平成25年度事業体系	6
4 平成25年度事業計画	
1 指導者の養成と研修	7
2 学習相談・情報提供	7
3 学習講座等の開設	8
4 交 流	8
5 調査・研究	8
6 施設・設備の提供	8
7 科学教育の普及・推進	9
5 平成24年度事業実績	
1 指導者の養成と研修	10
2 学習相談・情報提供	13
3 学習講座等の開設	14
4 交 流	14
5 調査・研究	14
6 施設・設備の提供	15
7 施設設備の利用状況（件数）	15
8 生涯学習情報提供システム（ばるネット岡山）	15
9 学習相談件数	16
10 AVコーナー	16
11 視聴覚教材コーナー	16
6 関係条例及び規則	
岡山県生涯学習センター条例	17
岡山県生涯学習センター条例（別表）	19
岡山県生涯学習センター条例施行規則	20

利用案内（裏表紙）

1 運営の基本方針

岡山県生涯学習センターは、県民が生涯にわたって行う学習活動を支援するために平成9年1月に設置された教育機関である。平成22年2月に策定された第3次岡山県生涯学習推進基本計画を踏まえ、市町村や関係職員・団体等との連携を図りながら、今年度は、次の事項を組織目標として運営する。

また、生涯学習センター、鳥城高等学校等が連携し、児童から高齢者まで「少・壮・老」の三世代の県民が、仲間（ばる）として、楽しく学習や交流ができるゾーン（「三学ばる岡山」）づくりを目指す。

さらに、平成25年度開館の「人と科学の未来館サイピア」を拠点として、科学教育の普及・推進に努める。

1 生涯学習指導者の養成・研修

生涯学習推進の中核となる県・市町村の関係職員や生涯学習指導者の養成・研修を実施し、その資質の向上と指導力の充実に努める。

2 生涯学習情報提供・学習相談

県民の生涯にわたる学習活動を支援するため、広く県内外の学習情報・資料の収集整理に努めるとともに、生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」の充実に図り、情報提供や学習相談の充実に努める。

3 学習講座の開設

県民に広く学習機会を提供し、生きがいづくり・能力開発に役立てるとともに、学習を通じて地域社会づくりに貢献できるよう講座の充実に努める。

4 学習者・団体相互の交流・連携

多様な分野や各年齢層の仲間が集い、活動成果の発表などの交流を通して、学習意欲を高める。

5 調査・研究

県内の生涯学習・社会教育関係の実態調査等を行い、県民の学習環境や学習ニーズを把握・分析するとともに、学習プログラムや学習成果の評価・活用などの研究・開発を行う。

6 施設・設備の利用促進

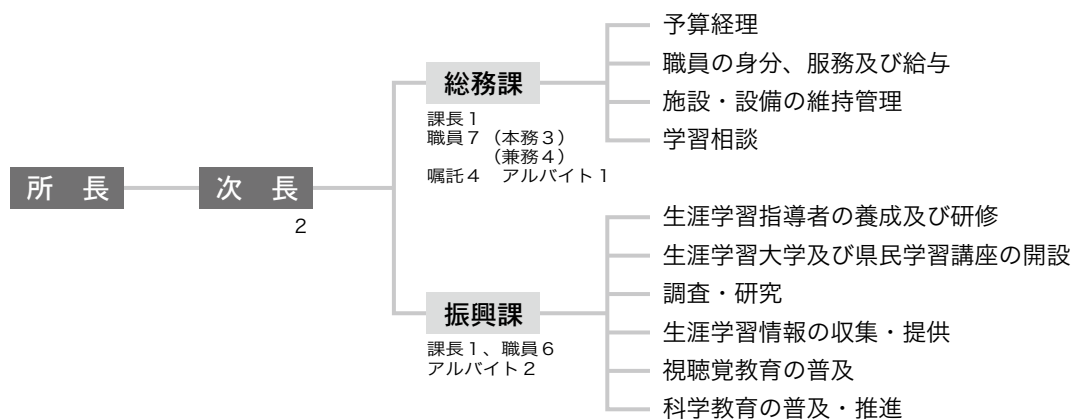
生涯学習推進の拠点施設として、県民の自主的・主体的学習の場として、施設・設備を提供し、県内の企業、大学、各種団体と連携・協働しながら、県民の生涯学習活動を支援する。

7 科学教育の普及・推進

人と科学の未来館サイピアの開館に伴い、運営にかかわる連携・協働先とのネットワークの構築、指定管理者との緊密な連携により科学関連事業の充実に努める。

2 概要

1 組織



2 沿 革

- 平成2年1月 中央教育審議会が文部大臣に対し「生涯学習の基盤整備について」を答申。
この中で、地域の生涯学習を推進するための中心機関となる「生涯学習推進センター」について、都道府県が設置することが適当である旨を答申した。
- 平成3年4月 第4次岡山県総合福祉計画の中で、学習情報の提供、学習相談、指導者の養成等を行う生涯学習推進センターの必要性及び単位制高等学校の整備を進めることが述べられた。
- 平成4年3月 岡山県生涯学習推進会議が、「岡山県における生涯学習推進の基本的な考え方」についての意見具申の中で、県の生涯学習推進の中核施設である「生涯学習推進センター」の早急な整備を求めた。
- 平成5年3月 岡山県立短期大学跡地に、生涯学習推進センター（仮称）と単位制に改編する県立鳥城高等学校を一体的に整備する「生涯学習推進センター（仮称）整備基本構想」策定
- 平成6年3月 「岡山県立短期大学跡地整備基本計画」策定
12月 「岡山県立鳥城高等学校・生涯学習推進センター（仮称）基本設計」完了
- 平成7年3月 「岡山県立鳥城高等学校・生涯学習推進センター（仮称）実施設計」完了
11月 建設工事着工
- 平成8年12月 岡山県生涯学習センター竣工
12月 12月議会において「岡山県生涯学習センター設置条例」制定
- 平成9年1月 同条例施行、機関設置
2月 岡山県生涯学習センターオープン記念式
2月 岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」稼働
5月 岡山県生涯学習大学「のびのびキャンパス岡山」開設
- 平成10年2月 「県立鳥城高等学校・県生涯学習センターの一体的運営に関する委員会」発足
10月 岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」が岡山情報ハイウェイに接続され、インターネット上で情報提供開始
- 平成12年6月 岡山県公民館連合会事務局を県教育庁生涯学習課から移管。
- 平成12年度 文部省委嘱事業「生涯学習ボランティア推進フォーラム」、「キャリア開発学習情報提供推進事業」実施
11月 岡山県生涯学習推進中核施設連絡協議会を設立
- 平成13年3月 国庫補助「情報技術学習環境整備事業」により第2パソコン教室を整備
- 平成14年2月 岡山県生涯学習センター開所5周年記念事業を実施
3月 岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」を更新
4月 「おかやま長寿学園」を「岡山県生涯学習大学」に統合
6月 岡山県公民館連合会発足50周年に伴う記念事業を実施
7月 岡山県体験活動ボランティア活動支援センターを設置
- 平成17年4月 生涯学習・社会教育担当者向けの研修をリニューアル
- 平成18年3月 岡山県生涯学習推進施設中核施設連絡協議会を解散
11月 「まなびピア岡山2007」プレフェスティバルを開所10周年記念事業と兼ねて開催
- 平成19年2月 岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」を更新
4月 施設設備の維持管理、業務及び施設等の利用許可業務等一部の業務に指定管理者制度を導入
11月 「まなびピア岡山2007in三学ばる岡山」を開催
- 平成20年11月 池田動物園、県立児童会館、岡山県生涯学習センターで連携し「京山キッズゾーン」を立ち上げ、「第1回京山祭」を開催
11月 「おかやま学びフェスタ2008」を開催
- 平成21年4月 情報課を振興課に統合し新しく振興課とする。
- 平成23年3月 県立児童会館閉館
- 平成23年9月 「岡山県生涯学習センター未来科学棟（仮称）整備基本計画」策定
- 平成24年4月 「岡山県生涯学習センター運営協議会」設置
- 平成24年5月 「岡山県生涯学習センター未来科学棟（仮称）専門委員会」設置
（のちに「岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア専門委員会」に名称変更）
- 平成24年6月 岡山県生涯学習センター未来科学棟（仮称）建設工事着手
- 平成24年10月 新施設の名称が「人と科学の未来館サイピア」に決定
- 平成25年3月 「岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア」竣工

3 建設概要

敷地面積 45,010㎡

建築面積 7,566㎡

延床面積 14,320㎡

構造規模

交流棟／鉄筋コンクリート造2階建 学生食堂／鉄筋コンクリート造平屋建

情報・創作棟／鉄筋コンクリート造5階建 喫茶棟／鉄骨造平屋建

講義棟／鉄筋コンクリート造5階建 公衆便所／鉄筋コンクリート造平屋建

体育館／鉄筋コンクリート造2階建

人と科学の未来館サイピア／鉄筋コンクリート造2階建

駐車場／鉄骨造(180台)／芝生舗装(32台)

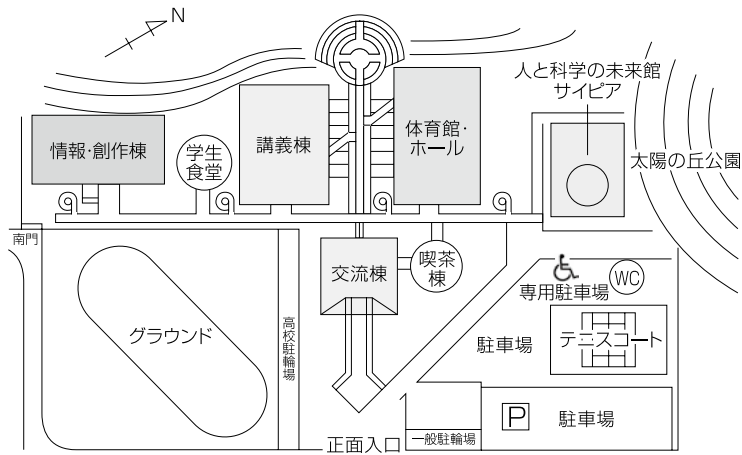
建設工事費 当初約46億円 人と科学の未来館サイピア約7億円(プラネタリウム等を含む)

4 施設概要

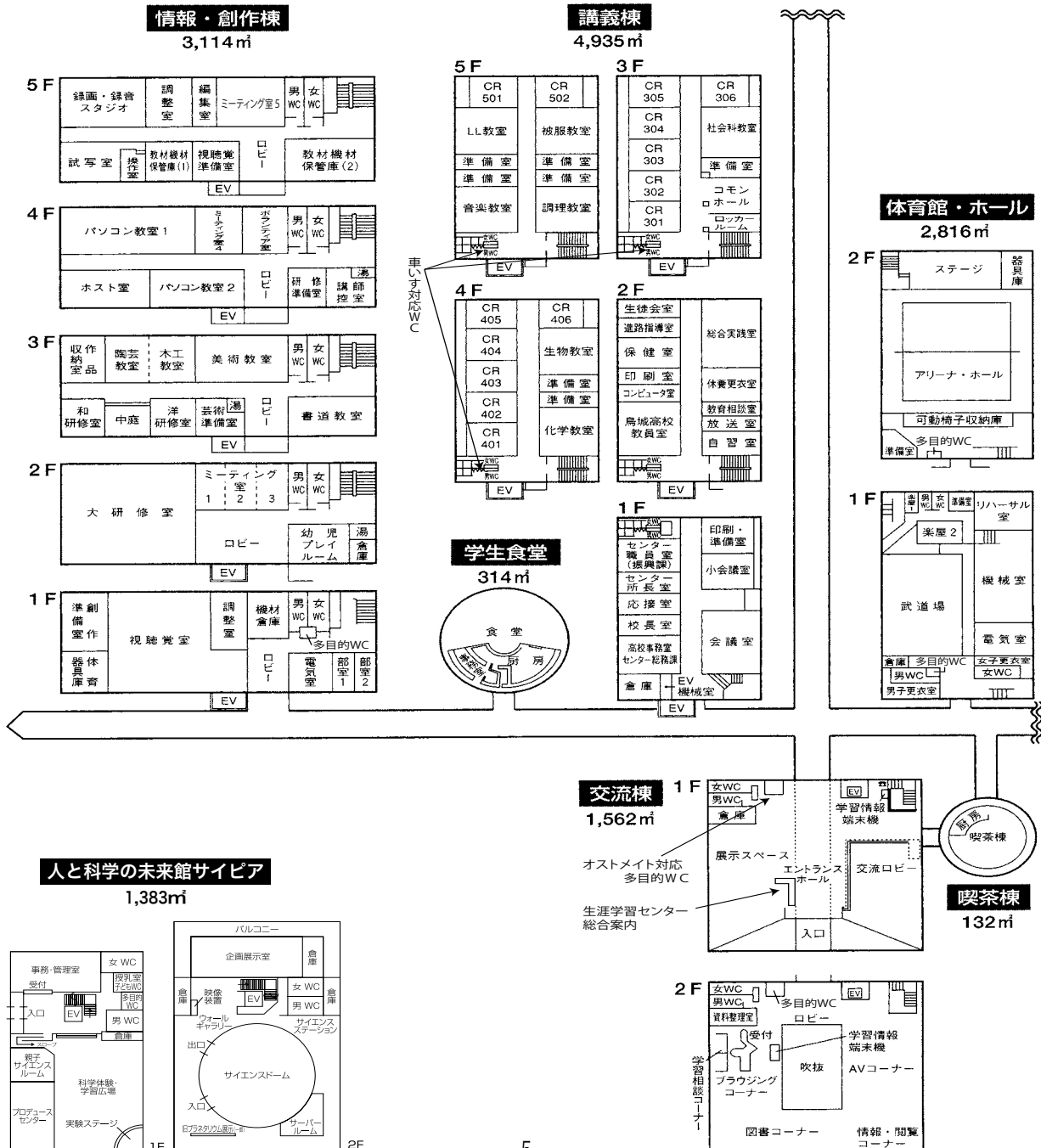
建物	階別	室名	面積	定員	主要設備内容
情報・創作棟	1階	視聴覚室	261㎡	72人	ハイビジョン対応のプロジェクター、その他各種映像再生機器
	2階	大研修室	261㎡	150人	液晶プロジェクター、簡易ステージ、プロジェクションテレビ、DVDビデオデッキ、演台、ホワイトボード、スクリーン
		ミーティング室1	28㎡	18人	ホワイトボード
		ミーティング室2	22㎡	12人	ホワイトボード
		ミーティング室3	28㎡	18人	ホワイトボード
		幼児プレイルーム	50㎡	—	幼児用絵本、おもちゃ、ビデオ付テレビ等
	3階	和研修室	33㎡	—	茶道用道具(有料)
		洋研修室	33㎡	12人	—
		陶芸教室	39㎡	24人	作業台、電動ろくろ等陶芸工具
		木工教室	39㎡	8人	卓上糸鋸盤等木工具
		美術教室	80㎡	35人	チャートハンガー、各種画材用具等、プロジェクションテレビ
		書道教室	66㎡	32人	チャートハンガー、プロジェクションテレビ
	4階	パソコン教室1	116㎡	40人	パソコン41台、カラープリンター
		パソコン教室2	66㎡	20人	パソコン21台、スキャナ付プリンター
		ボランティア室	40㎡	18人	ホワイトボード、スクリーン
		ミーティング室4	40㎡	18人	ホワイトボード、スクリーン
		ホスト室	66㎡	—	—
		講師控室	28㎡	—	—
	5階	録画・録音スタジオ	116㎡	—	ベータカムレコーダー等映像機器、デジタルミキサー等音声録音機器、グランドピアノ(有料)
		編集室	21㎡	—	ビデオタイター、ビデオエディティングシステム、パソコン、Hi8・VHS・DV編集機等
		ミーティング室5	58㎡	26人	ホワイトボード
		試写室	66㎡	18人	プロジェクター、LD・DVDプレーヤー、Hi8・VHSビデオ、16ミリ映写機等
	講義棟	1階	校長室	40㎡	—
応接室			40㎡	—	—
事務室			75㎡	—	(高校事務室、センター総務課)
所長室			40㎡	—	—
センター職員室			80㎡	—	(センター振興課)
会議室			121㎡	63人	—
小会議室			64㎡	32人	—
印刷・準備室			64㎡	—	—

建 物	階別	室 名	面積	定員	主 要 設 備 内 容
講 義 棟	2階	教 員 室	160㎡	－	－
		コ ン ピ ュ ー タ 室	40㎡	－	－
		印 刷 室	40㎡	－	－
		保 健 室	66㎡	－	－
		進 路 指 導 室	54㎡	－	－
		生 徒 会 室	43㎡	－	－
		総 合 実 践 室	163㎡	－	パソコン 42台
		休 養 更 衣 室	80㎡	－	－
		教 育 相 談 室	40㎡	－	－
		放 送 室	40㎡	－	－
	自 習 室	80㎡	－	－	
	3階	CR(クラスルーム)× 6	64㎡	40人	－
		社 会 科 教 室	120㎡	40人	ホワイトボード
		コ モ ン ホ ー ル	80㎡	－	自動販売機、洗面台
		ロ ッ カ ー ル ー ム	80㎡	－	－
	4階	CR(クラスルーム)× 6	64㎡	40人	－
		生 物 教 室	120㎡	40人	－
		化 学 教 室	121㎡	40人	－
	5階	CR(クラスルーム)× 2	64㎡	40人	－
		L L 教 室	120㎡	40人	LLシステム
音 楽 教 室		117㎡	40人	グランドピアノ、CD等音響機器	
被 服 教 室		121㎡	40人	－	
調 理 教 室		120㎡	40人	－	
交 流 棟	1階	展 示 ス ペ ー ス	200㎡	－	生涯学習センター総合案内、展示パネル、展示ケース
		交 流 口 ビ ー	220㎡	80人	プロジェクションテレビ、生涯学習情報提供システム公開端末機
	2階	A V コ ー ナ ー	160㎡	－	AVブース (10ブース)
		情 報 閲 覧 コ ー ナ ー	144㎡	－	－
		学 習 相 談 コ ー ナ ー	80㎡	－	生涯学習情報提供システム公開端末機 (2台)
図書・ブラウジングコーナー	160㎡	－	－		
体 育 館・ ホ ー ル	1階	武 道 場	336㎡	－	－
		リ ハ ー サ ル 室	93㎡	－	－
		楽 屋 1	12㎡	－	洗面台、丸椅子、コートハンガー
		楽 屋 2	25㎡	－	洗面台、丸椅子、コートハンガー
2階	ア リ ー ナ	896㎡	500人	可動椅子500席 (有料)、各種音響・照明設備、プロジェクションテレビ、OHC	
学 生 食 堂	1階		314㎡	220人	鳥城高等学校専用
喫 茶 棟	1階		132㎡	64人	(グリルばる)
グ ラ ウ ン ド			7,273㎡	－	夜間照明
テ ニ ス コ ー ト			1,254㎡	－	オムニコート2面
駐 車 場			1,751㎡	－	普通車180台、大型バス4台
			976㎡	－	普通車32台
人 と 科 学 の 未 来 館 サイピア	1階	科学体験・学習広場	237㎡		液晶プロジェクター、大型モニター、スクリーン他
		プロデュースセンター	70㎡		ホワイトボード他
		親子サイエンスルーム	33㎡		幼児用絵本、おもちゃ、各種遊具他
	2階	企 画 展 示 室	101㎡		液晶プロジェクター、スクリーン他
サイエンスドーム		176㎡	132人	投影機他	

5 施設配置図



生涯学習センター・鳥城高等学校施設内配置図



3

平成25年度事業体系

生涯学習センター事業



4 平成25年度事業計画

1 指導者の養成と研修

事業名	主な内容	対象：定員	期間	
行政職員等研修	生涯学習・社会教育関係職員初任者研修会	生涯学習・社会教育行政の推進に必要な基礎的な知識・技能の研修を行い、行政職員や生涯学習推進者としての資質の向上を図る。また、職員間のネットワークづくりを支援する。 50人	生涯学習・社会教育推進担当者で勤務年数が少ない方 基礎的な知識を学びたい方 等	4月～5月
	生涯学習・社会教育関係職員ステップアップ研修会	現代的な課題に対応し、日常の業務に役立つ実践的な研修を体系的に行うことで、担当者や生涯学習によるまちづくりの指導者としての力量の向上を図る。 (備前・備中・美作地区で実施)	生涯学習・社会教育担当者 社会教育施設職員 社会教育指導員 生涯学習・社会教育推進の指導者 等 各30人	5～10月
	社会教育施設職員等研修会	生涯学習時代における生涯学習・社会教育のあり方について研修し、指導者としての力量の向上を図る。 (視聴覚ライブラリー研修会及び岡山県公民館連合会研修会と兼ねる。)	社会教育施設職員、公民館職員、生涯学習・社会教育担当者 等 100人	5～9月
	公民館情報ネットワーク事業	公民館職員などを対象に、ホームページ作成や更新に関する技能研修を行い、情報発信能力の底上げとホームページ運用公民館数を増加させ、公民館の情報ネットワークを構築する。さらに、岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」と公民館ホームページをリンクさせ、県内の生涯学習情報ネットワークの構築を行う。	公民館職員、公民館ホームページ作成関係職員、教育委員会生涯学習担当職員、首長部局生涯学習関連課職員、生涯学習センター等の施設職員	5～12月
	視聴覚ライブラリー担当者会・研修会	視聴覚ライブラリーの運営上の諸問題を話し合い、視聴覚教育の一層の向上を目指す。	視聴覚ライブラリー職員	8～9月
	岡山県公民館連合会研修会	公民館における現代的課題についての研修を行い、職員や市町村公民館担当者の資質の向上を図る。	公民館職員、市町村教育委員会公民館担当者 100人	5～9月
県民指導者研修	教育支援活動コーディネーター等研修会（中央研）	学校と家庭、地域のそれぞれの関係づくりを進めるコーディネーターや、家庭教育支援を推進するリーダー等の資質向上を図る。 (学校教育支援、放課後支援、家庭教育支援)	学校支援コーディネーター、放課後子ども支援コーディネーター、家庭教育支援チーム員、教職員（地域連携担当職員） 等 各50人	6～8月
	How To ボランティア!!（学生ボランティア養成講座）	青少年のキャリア形成、キャリアアップの一環として、ボランティア活動に興味・関心をもつ学生を対象にボランティア養成を行い、地域や学校で活躍するリーダーを養成する。	県内大学生 40人	5月～ 26年1月

2 学習相談・情報提供

事業名	主な内容	対象：定員	期間	
学習相談	学習相談員が面談、手紙、電話、ファクシミリ、電子メールで、生涯学習に関する相談に応じる。	県民一般	常時	
生涯学習情報提供	生涯学習情報提供システムの整備	新情報提供システムの利用状況、実用性、操作性を調査し、より使いやすいシステムづくりを図る。		常時
	生涯学習情報の収集・整理	コンピュータネットワークで提供する「講座・講演情報」「講師・ボランティア情報」「団体・グループ情報」等の更新と情報量の増加を図るとともに、分野によっては内容を精選し、広く広報を行う。		常時
	A Vコーナーの整備・運営	10台のビデオ用ブースで、郷土に関する映像や映画、アニメーション等を提供する。	県民一般	常時
	情報・図書資料の収集・整理	図書、逐次刊行物、新聞等を収集・整理し学習者に提供する。	県民一般	常時
	センターだより（情報誌）等の発行	センターの事業等を紹介するために、要覧、リーフレット、情報誌等を作成し、関係機関等に配布する。	県民一般 関係機関	要覧 年1回 情報誌 年2回 リーフレット 随時

	事業名	主な内容	対象：定員	期間
視聴覚メディア活用学習の促進	視聴覚教材・機材の整備・貸出	視聴覚教材や機材の整備・貸出等を行い、学習活動を支援する。	県内の団体	常時
	視聴覚教育の普及・広報活動	視聴覚教育の指導者の養成に努めるとともに、16ミリ映写機利用セミナーを開催するなど、一般への視聴覚教育の普及を図る。 視聴覚教材目録を5,000部作成し、視聴覚教材の利用促進を図る。	教材利用団体	随時
	岡山県視聴覚ライブラリー連絡協議会	県下の視聴覚ライブラリーとの連携を図り、視聴覚教育の推進を図る。	視聴覚ライブラリー職員	随時
	16ミリフィルムデジタル化事業	郷土岡山を紹介する貴重な16ミリフィルムの映像をデジタル化し、広く県民に公開するとともに、後世に映像資料として伝える。		

3 学習講座等の開設

	事業名	主な内容	対象：定員	期間
生涯学習大学	講座の遠隔地配信	県の特性を生かした講座を開設するとともに、多様な学習講座を体系化し情報提供する。さらに、学習成果を評価することにより社会参加の促進を図る。 (主催講座) ○実践コース（1講座） ○専門教養コース（3講座） ○大学院コース（4講座） (連携講座) 他の行政機関及び民間が主催する講座	県民一般 定員30名 定員40名 定員20名 (学習指導定員30名) 県民一般 定員各講座ごと	年間
		VODによる講座の遠隔地への配信	県民一般	随時

4 交流

	事業名	主な内容	対象：定員	期間
発表・展示・交流	生涯学習「受講生の集い」	岡山県生涯学習大学の受講生に対し、証書の授与や学習成果発表の場を提供するとともに、著名人の講演を行い、生涯学習を県民にPRする。	受講生 県民一般 350人	2月
	発表・展示・交流	展示スペース、交流ロビー等を生涯学習の成果の発表の場として提供する。	生涯学習関連団体 県民一般	随時

5 調査・研究

	事業名	主な内容	対象：定員	期間
	公民館に関する調査・研究	県内の公民館情報の収集・分析・提供を行い、生涯学習・社会教育の推進及びセンター機能の充実のための基礎資料を得る。	市町村教育委員会 県内各公民館	8月

6 施設・設備の提供

	事業名	主な内容	対象：定員	期間
ばるスマイルDay	施設・設備の提供	県民に生涯学習センターの施設・設備を提供し、生涯学習を支援する。	関係機関 県民一般	常時
	ばるシアター	毎月第3土曜日に、子ども・親子を対象とした体験活動「ばるチャレンジ」、趣味や特技をいかした「ばるコンサート」、子ども向け映画会「ばるシアター」など、ボランティアや各協力団体と協働して、県民に体験活動の場とボランティア活動の場を提供する。 また、視聴覚室等を開放し、子どもや大人が楽しみながら映像に親しむとともに豊かな心と感性を育む場を設ける。	県民一般 各回 72人	原則毎月第3土曜日

事業名	主な内容	対象：定員	期間
京山祭	生涯学習センターの施設の一部を開放し、体験や遊びのコーナーを設け、家族や仲間とのふれあいや交流の場を提供する。	子どもと保護者	6月 11月
ぱるボランティア	自己実現及び社会参加を目的に、自発的、自主的なボランティアとしての活動を促し、センター運営機能の活性化を図る。	県民一般 60名程度	常時

7 科学教育の普及・推進

事業名	主な内容	対象：定員	期間
専門委員会の開催	有識者等による専門委員会を開催し、休日向けの科学教室や平日の学校学習利用、プラネタリウムの運営内容などについて、専門的見地から意見を聴取し、各種施策に反映させる。		年3回
人と科学の未来館サイピアの運営支援 (指定管理者実施)	プラネタリウム投影 ドーム内イベント（コンサート、記念講演） 企画展示 科学実験教室等 学校学習の受入れ 子ども科学クラブ（天文・科学） 友の会 科学フェスティバル サイエンス・インストラクター パンフレット、チラシ、広報紙	県民一般 県民一般 県民一般 県民一般 小中学校等 会員 会員 県民一般 県民一般 県民一般	年間 年5回 年間 休日、夏休み等 随時（平日） 各年間9回 交流会年1回 会報誌年4回 夏期 養成講座年2回 随時
JAXAとの連携事業	JAXAとの事業連携に基づき、関係機関、団体や市町村教委等と連携を図り、学校教育及び社会教育支援事業を実施し、宇宙教育の振興を図る。 ○学校教育支援活動：井原市美星小学校を中心に計画 ○教職員研修支援活動：総合教育センター研修において計画 ○社会教育支援活動：コズミックカレッジ：宇宙の学校	美星小学校 県内教員 県民一般 県民一般	年3回 年1回 年1回 年4回
連携・協働型事業	県教育委員会や県高等学校工業教育協会等との連携・協働により、魅力的な事業の誘致、共催実施等を図る。	県民一般	随時

5 平成24年度事業実績

1 指導者の養成と研修

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
生涯学習推進 基礎講座	平成24年4月24日	<p>生涯学習・社会教育の推進に必要な基本的な知識の理解・技能の研修を行い、行政職員や生涯学習推進者としての資質向上を図った。</p> <p>〈第1回〉 【講義】「基礎から学ぶ生涯学習・社会教育の進め方～入門編～」 岡山大学大学院 准教授 熊谷慎之輔 【実践発表】「公民館がむすぶ地域のきずな」 笠岡市陶山公民館 主事 西江 律子 【意見交流会】「はじめの一歩～社会教育担当者として～」 岡山県生涯学習センター 振興課職員</p>	第1回 79人
	平成24年5月8日 (県南会場) 平成24年5月11日 (県北会場)	<p>〈第2回〉 【講義・演習】「基礎から学ぶ講座企画・立案のポイント」 (県南会場) 広島経済大学 准教授 志々田まなみ (県北会場) 岡山県立大学 教授 嘉数 彰彦 【説明】「岡山県の社会教育行政の現状」 岡山県生涯学習センター 振興課職員 【グループ演習】「レッツチャレンジ! 講座企画」 岡山県生涯学習センター 振興課職員</p>	第2回 63人 22人
生涯学習推進 実践講座	平成24年5月17日 ※各コース共通	<p>現代的な課題に対応し、日常の業務に役立つ実践的な研修を体系的に行うことで、生涯学習によるまちづくりやコーディネーターに必要な担当者の資質向上を図った。</p> <p>〈第1回〉※社会教育主事等研修会を兼ねて実施。 【テーマ】「学校・家庭・地域の連携における課題と目指す方向性」 【講義】「教育の協働（協育）の意義と方策～大分の思想と取組から考える～」 大分大学高等教育開発センター 教授 中川 忠宣 【シンポジウム】「ひろげよう！家庭教育支援」 (シンポジスト) 総社市教育委員会生涯学習課 社会教育主幹 風早 潤一 貝塚子育てネットワークの会 代表 木藤 順子 朝日 陽子 NPO法人子育てネットくすくす 理事長 草薙めぐみ (コーディネーター) 岡山県生涯学習センター社会教育主事 (副参事) 三宅 淳</p>	第1回 83人
	Aコース 平成24年6月19日	<p>〈第2回コース別〉 ◆Aコース「地域の人間関係づくり」 (津山市中央公民館) 【講義・演習】「社会教育担当者に求められる人間関係づくりの方法」 公益社団法人鳥取県人権文化センター 次長兼上席専任研究員 尾崎真理子</p>	Aコース 32人
	Bコース 平成24年6月29日	<p>◆Bコース「参加型学習の進め方・ワークショップの手法」 【講義・演習】「ワークショップの手法を学び、まちづくりに活かす」 NPO法人まちづくり推進機構岡山 理事 徳田 恭子</p>	Bコース 22人
	Cコース 平成24年8月3日	<p>◆Cコース「学校支援」 【講義・演習】「学校支援の輪を広げよう」 NPO法人スクール・アドバイス・ネットワーク 理事長 生重 幸恵</p>	Cコース 42人
	Dコース 平成24年8月7日	<p>◆Dコース「放課後等支援」 【講義】「教育支援活動とコーディネーター」 東京学芸大学 教授 松田 恵示 【演習】「危機管理ワークショップ」 岡山大学キャリア開発センター 助教 中山 芳一</p>	Dコース 25人
	Eコース 平成24年9月25日	<p>◆Eコース「家庭教育支援」 【講義】「今、求められている家庭教育支援～すべての子どもの成長を支援する～」 九州女子大学 准教授 大島 まな 【演習】「みんなで実践発表！」</p>	Eコース 32人
	Fコース 平成24年10月5日	<p>◆Fコース「講座の企画・立案」 (ライフパーク倉敷) 【講義・演習】「出会い一瞬、付き合い一生～講座企画から考える～」 「企画書をつくらう！」 かのさと体験観光協会 事務局長 仲田 芳人</p>	Fコース 26人

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
	平成24年12月14日 ※各コース共通	<p>〈第3回〉「平成24年度岡山県生涯学習推進実践交流会」 ※“あるある”公民館イニシアティブ事業報告会、岡山県公民館連合会第4回研修会、岡山県公民館職員等研修会を兼ねて実施。</p> <p>【テーマ】「地域の教育力を育むための社会教育の役割を考える」 【第1分科会】「地域の教育力を育むための教育支援コーディネーターの役割を考える」 (実践発表) 倉敷市立柏島小学校学習支援ボランティアコーディネーター 森本 幹 倉敷市立柏島小学校放課後子ども教室コーディネーター 手島奈緒美 真庭市立遷喬小学校地域コーディネーター 大釜 尚美 (コーディネーター) 香川大学生涯学習教育研究センター センター長 教授 清國 祐二</p> <p>【第2分科会】「地域の教育力を育むための社会教育関係職員の役割を考える」 (実践発表) 高梁市教育委員会社会教育課 生涯学習係長 藤井 聡美 赤磐市教育委員会社会教育課 主幹(生涯学習班長) 竹下 充 (コーディネーター) 広島経済大学経済学部 准教授 志々田まなみ</p> <p>【第3分科会】「地域の教育力を育むための公民館職員の役割を考える」 (“あるある”公民館イニシアティブ事業報告会) (実践発表) 瀬戸内市牛窓良いトコ見つけ隊 若松 挙史 久米南町“あるある”公民館イニシアティブ事業実行委員会 赤木 四郎 笠岡市ふるさと探訪実行委員会 二階堂昇司 津山市高田地域興実行委員会 兵延 軍治 奈義昔話語り保存実行委員会 寺坂 信也 (コーディネーター) 岡山県生涯学習センター社会教育主事(副参事) 三宅 淳</p> <p>【トークセッション】「岡山の“未来”を語る～社会教育役割について～」 (ゲストコメンテーター) 香川大学生涯学習教育研究センター センター長教授 清國 祐二 広島経済大学経済学部 准教授 志々田まなみ 岡山市立中央公民館 主任(社会教育主事) 重森しおり 岡山県教育庁生涯学習課 課長 久芳 全晴</p>	第3回 141人
公民館情報ネットワーク事業	平成24年12月3日 ～平成25年2月28日 (6市町村会場 11回)	<p>公民館からの情報発信能力を向上させるため、講座企画、情報発信に関する戦略の立て方、SNS(フェイスブック作成)の基礎、チラシ作成の基礎などについて研修を行うことができた。そのことで、ホームページ運用公民館数を増加させ、さらに、岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」と公民館ホームページをリンクさせ、県内の生涯学習情報ネットワークの構築を目指した。</p> <p>(内容) 【講義・演習】講座企画の基礎、情報発信の基礎、SNS(フェイスブック作成)の基礎、広告チラシ作成の基礎 など</p> <p>【講師】 1日目 岡山県立大学造形デザイン学科長 教授 嘉数 彰彦 2日目 岡山県生涯学習センター職員</p> <p>【会場】 赤磐市立中央公民館 [12月3日(月)、12月4日(火)] 9名 真庭市落合支局落合公民館 [12月5日(水)、12月6日(木)] 12名 吉備中央町立吉川公民館 [12月12日(水)、12月20日(木)] 11名 高梁市文化交流館・吉備国際大学 [12月17日(月)、2月28日(木)] 15名 鏡野町ベストロッジ館・鏡野町立中央公民館 [12月18日(火)、12月19日(水)] 15名 美作市役所勝田総合支所 [1月9日(水)] 12名</p>	
教育支援活動コーディネーター等研修会(中央研修)	第1回 平成24年6月2日	<p>おかやま子ども応援事業を効果的に進めるために、地域において中心的な役割を担うコーディネーター、学校教育関係者(地域連携担当者等)等関係者の資質向上を図った。</p> <p>第1回中央研修 【説明】「平成24年度おかやま子ども応援事業について」 説明 岡山県教育庁生涯学習課 社会教育主事(主幹) 岡武 俊樹 【講話】「『地域連携担当』は学校と地域をつなぐキーパーソン」 講師 赤磐市立赤坂中学校 校長 平田 俊治 【情報交換】「コーディネーターQ&A」</p>	141人
	第2回 平成24年7月27日	<p>第2回中央研修：学校地域連携担当者(高・特) 【説明】「学校と地域の連携について」 説明 岡山県教育庁生涯学習課 総括副参事 安田 隆人 【講義】「ミドルリーダーとしての校内指導体制づくりのポイント～学校組織マネジメントの視点から～」 講師 愛媛大学 准教授 露口 健司</p>	75人

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
	第2回 平成24年7月30日	<p>【実践発表（高校）】「学校と地域の効果的な連携を図る取組」 発表 興譲館高等学校 校長 小谷 彰吾</p> <p>【実践発表（特別支援学校）】「学校と地域の効果的な連携を図る取組」 発表 県立誕生寺支援学校 教頭 西村 寿倫 県立岡山南支援学校 主幹教諭 浅野久美江</p> <p>【協議・演習】「学校と地域の効果的な連携を図る取組」</p> <p>第2回中央研修：学校地域連携担当者（小・中）</p> <p>【講義】「学校と地域の効果的な連携を進めるためのポイント」 講師 岡山大学大学院教育学研究科 准教授 熊谷慎之輔</p> <p>【説明】「学校と地域の連携について」 説明 岡山県教育庁生涯学習課 総括副参事 安田 隆人</p> <p>【実践発表】「学校と地域の効果的な連携を図る取組」 発表 倉敷市立倉敷東小学校 教頭 大倉 尚志 地域コーディネーター 吉村 栄輔 学校支援ボランティア 仁科 裕子</p> <p>【協議・演習】「学校と地域の効果的な連携を図る取組」</p>	257人
How To ボランティア!! (学生ボランティア養成講座)	平成24年5月27日 ～平成25年1月20日 (年8回)	<p>ボランティア活動に興味・関心をもつ学生を対象に、活動に必要な知識、技術等を習得し、活動をおとして学んだものを生かして、それぞれの地域や学校で活躍するリーダーの養成を行った。</p> <p>◆第1回 「ボランティア活動のhow to !!」 ノートルダム清心女子大学 人間生活学部教授 西井 麻美 岡山県生涯学習センター職員</p> <p>◆第2回 「救命救急法を学ぼう！」(AED講習) 岡山市西消防署員</p> <p>◆第3回 「イベント企画のHow To !」 小学館集英社プロダクション エデュケーション事業局 関西支社 社会教育事業部 菊田 典子 社会教育事業部東海事務局 星野 志麻</p> <p>◆第4回 生きる力応援プラン 「夢さがしの旅」 県教育庁生涯学習課職員 推進事業へ活動支援スタッフ参加 青少年教育施設職員</p> <p>◆第5回 「体験活動のhow to !」 岡山YMCA職員 主事 三ツ橋武志</p> <p>◆第6回 「科学キッズフェスティバル ブース出展準備」 振興課職員</p> <p>◆第7回 「科学キッズフェスティバル 参加!!」(ブース出展) 振興課職員</p> <p>◆第8回 「活動の振り返り」 振興課職員</p>	35人 31人 34人 11人 21人 19人 16人 10人
視聴覚ライブラリー 担当者会・第1回研修会	平成24年7月11日	<p>◆担当者会 県下の視聴覚ライブラリー担当者が集まり、運営上の諸問題等を話し合い、視聴覚教育の推進に努めた。</p> <p>◆第1回研修会 『著作権 ～著作権の基本、貸出におけるトラブルをさけるために 等～』、 『効果的な広報 ～効果的なレイアウト・チラシの作り方～』 講師 山陽放送株式会社 編成業務局 編成部 小松原 貢</p>	11人 13人
第2回研修会	平成24年11月2日	<p>◆第2回研修会 「RSKメディアコム（山陽放送ライブラリーセンター）施設見学と講話、映像視聴（郷土に関する貴重な映像視聴）、技能研修（映像や音響設備の接続の仕方）」 講師 山陽放送株式会社 編成業務局 編成部 小松原 貢</p>	8人
岡山県公民館連合会 研修会	平成24年5月31日	<p>◆第1回研修会 【講演】「あの時、避難所は・・・“おだがいさま”が支えた169日間 ービッグパレットふくしま避難所が教えてくれたことー」 講師 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター 特任准教授 天野 和彦</p>	106人

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
	平成24年9月 6日～7日	◆第2回研修会 ※第35回中国・四国地区公民館研究集会（岡山大大会）と兼ねて実施。 【テーマ】「つどいつながりきずなを深める公民館活動」 第1日 全体会：岡山市民会館大ホール 【基調講演】「人と人のつながり、きずなの大切さ」 講師 特定非営利活動法人アムダ 理事長 菅波 茂 【シンポジウム】「つどいつながりきずなを深める公民館活動」 コーディネーター 岡山大学大学院教育学研究科 准教授 熊谷愼之輔 シンポジスト 津山市一宮公民館子どもプレイランドの会学級 代表 小村 和弘 笠岡市教育委員会スポーツ推進課 課長 有本 敦至 香川県まんのう町吉野公民館 館長 長田 玲子	県内734人 県外724人
	平成24年10月23日	◆第3回研修会 【講話】「東日本大震災から見た公民館の役割」 講師 公益社団法人全国公民館連合会 事務局次長 村上 英己	34人
	平成24年12月14日	◆第4回研修会 ※岡山県生涯学習推進実践交流会、岡山県公民館職員等研修会を兼ねて実施。 【第3分科会】「“あるある”公民館イニシアティブ事業報告会」シンポジウム・協議	141人
	平成25年1月31日	◆岡山県公民館連合会60周年記念講演会 【講演】「これからの公民館像を求めて～公民館の原点、寺中構想から」 講師 日本体育大学 教授 上田 幸夫	94人

2 学習相談・情報提供

事業名	実施期間	内 容 等	
学習相談	年 間	学習相談員が面談、手紙、電話、ファクシミリ、電子メールで生涯学習に関する相談に応じた。	
生涯学習情報提供	生涯学習情報提供システムの整備	年 間	県内の生涯学習ポータルサイトとして、県内の関係教育機関が、データを入力、活用できるようにIDの発行・「利用の仕方」についての研修等を行った。
	生涯学習情報の収集・整理	年 間	コンピュータネットワークで提供する「講座・講演情報」「学習施設情報」「視聴覚教材情報」「講師・ボランティア情報」「子ども向け情報」「子育て支援情報」等12分類の情報収集・整理に努めた。「相談窓口」や「施設・文化財」情報の一部についての更新を、県・市町村・各種団体等と連携して行った。
	AVコーナーの整備・運営	年 間	10台のAVブースで、郷土に関する映像やアニメーション映画等、1,500本の映像を提供した。
	情報・図書資料の収集・整理	年 間	図書、逐次刊行物、新聞等を収集・整理し学習者に提供した。
	催し物案内（情報誌）等の発行	年 間	要覧（1,000部）、情報誌「生涯学習センターだより」（10,000部（6月）、10,000部（11月））、リーフレット等を作成し、関係機関に配付し、センター事業等の紹介をした。
視聴覚メディア活用学習促進	視聴覚教材・機材の整備、貸出	年 間	県内全域にわたる社会教育団体・学校等に対し、視聴覚教材・機材等の貸出をした。また、DVD 47作品を購入・整備し、視聴覚教材の整備に努めた。
	視聴覚教育の普及事業	年 間	16ミリ映写機利用セミナーを開催するなど、地域視聴覚ライブラリーや一般への視聴覚教育の普及に努めた。
	視聴覚教材広報活動	年 間	視聴覚教材目録を5,000部作成し社会教育団体・学校等へ配付した。また、「岡山県教育時報」や「生涯学習センターだより」等で教材の紹介を行った。
	岡山県視聴覚ライブラリー連絡協議会	年 間	県下14視聴覚ライブラリーとの連携を図り、視聴覚教育の推進に努めた。

3 学習講座等の開設

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
生涯学習大学	年 間	<p>県の特徴を生かした講座を行うとともに、他の行政機関や民間が行う多様な学習講座を体系化し、学習機会を提供した。</p> <p><主催講座></p> <ul style="list-style-type: none"> ○実践コース（1講座） 子どもの体験活動支援ボランティア養成講座 ～子どもとおとなの幸せな出会いを目指して～ ○専門教養コース（3講座） これからの地域社会 都市の歴史と文化―魅力ある岡山をつくるために― パソコンとネットで活用するデジタルカメラ ○大学院コース（4講座） 生涯学習の手引き 心も身体も健やかな生活をめざして 身近な科学！未来の科学！ 情報デザイナー養成講座 <p><連携講座> 行政機関及び民間等が主催する講座を連携講座として協力いただいた。 講座数580講座</p>	23人 34人 65人 27人 38人 19人 18人 20人
県民学習講座	平成24年8月5日	映画上映「魔女の宅急便」 「恋谷橋」	54人 34人
「人と科学の未来館サイビア」整備事業・天文教室 ・夏休み子ども科学教室	平成24年4月28日 平成24年8月11日 平成24年8月19日 平成24年8月25日	<p>◆天文教室 【講演】[大規模部分日食を觀よう] 講師 国立天文台岡山天体物理観測所 研究支援員 戸田 博之</p> <p>◆星を見る教室 【内容】・天体望遠鏡の使い方 ・夏の星座、今年の日体ショー ・天体観測 講師 国立吉備青少年自然の家所長 小林 道正</p> <p>◆ラジオ工作・アマチュア無線教室 【内容】・簡易ラジオ作り ・アマチュア無線体験 講師 日本アマチュア無線連盟岡山県支部</p> <p>◆宇宙の教室 【内容】・宇宙の話 ・発泡スチロール凧作り ・ストローロケット 講師 ・KU-MA会長 的川 泰宣 ・KU-MAスタッフ 遠藤 康弘</p>	227人 27人 13人 67人

4 交 流

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
京山キッズ・ゾーン「京山祭」	平成24年6月24日 平成24年11月25日 平成25年3月3日	隣接する太陽の丘公園、池田動物園と共同で、子ども向けのイベントを行った。 (※6月24日は「大学コンソーシアム岡山」と共催)	2,800人 3,700人 3,700人
生涯学習「受講生の集い」	平成25年2月17日	生涯学習大学単位認定証書、のびキャン博士称号授与書、奨励証、修了証書の授与、体験発表。 記念講演 「つくろう！22世紀型社会～未来を拓く科学の力～」 NHK解説主幹 室山 哲也	140人
発表・展示・交流	年 間	展示スペースを34団体に提供した。	

5 調査・研究

事業名	実施期間	内 容 等
生涯学習に関する意識調査	平成24年11～12月	県民の生涯学習に関する実態等と県が取り組んだ生涯学習に関する成果等を把握し、今後の生涯学習をより効果的に推進するための基礎資料を作成した。

6 施設・設備の提供

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
施設・設備の提供	年 間	県民に生涯学習センターの施設・設備を開放したり、貸し出しをした。	
ぱるシアター 「子ども映画会」	平成24年4月21日 ～平成25年3月16 日(年11回)	「まんが日本昔ばなし」「ミッキーマウス」「トムとジェリー」などの子ども向けアニメーション作品を中心に上映した。	延992人

7 施設設備の利用状況（件数）

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

施設設備名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
視聴覚室	13	12	9	17	14	11	11	17	8	12	12	4	140
大研修室	16	15	16	23	17	28	24	22	15	14	22	12	224
洋研修室	10	13	13	16	14	15	13	14	7	9	17	11	152
和研修室	8	6	8	9	8	12	11	16	9	11	8	5	111
ミーティング室1	28	27	22	31	28	25	32	31	23	26	25	21	319
ミーティング室2	31	24	31	35	24	30	24	27	19	21	24	17	307
ミーティング室3	23	25	25	35	30	24	24	26	19	21	21	18	291
ミーティング室4	23	20	24	28	21	24	23	20	21	22	18	17	261
美術教室	7	13	12	18	13	9	9	8	12	8	11	6	126
木工教室	5	4	4	6	3	5	3	6	2	3	3	3	47
陶芸教室	13	11	11	11	8	12	12	11	9	9	11	8	126
書道教室	14	18	19	22	22	15	22	15	21	16	21	15	220
パソコン教室1	0	0	2	5	5	0	4	3	0	0	5	0	24
パソコン教室2	3	5	3	4	6	1	3	7	2	2	4	3	43
ボランティア室	27	26	34	34	31	23	26	28	31	29	23	12	324
録画録音スタジオ	4	3	0	2	2	7	2	2	2	1	6	3	34
教材制作室	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
試写室	19	15	19	17	12	14	19	14	12	11	10	9	171
編集室	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
交流棟展示スペース(日)	4	21	14	13	19	14	21	6	16	15	10	14	167

(件数)

8 生涯学習情報提供システム（ぱるネット岡山）

(ア) データ保有数

(平成25年3月31日現在)

種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数
講座・講演	76,244	団体・グループ	2,860	講師・ボランティア	772	視聴覚教材	6,062
施設・文化財	3,949	資 格	1,011	学習相談窓口	125	学習プログラム	970
学習相談事例	97	合 計					92,090

(イ) 利用状況

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数
講座・講演	25,666	団体・グループ	1,439	講師・ボランティア	5,382	視聴覚教材	6,158
施設・文化財	4,456	資 格	1,066	学習相談窓口	554	学習プログラム	1,363
学習相談事例	194	合 計					46,278

9 学習相談件数

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数	合 計
講座	15	施設・設備	728	資格取得	1	794
講師	46	その他	4			

10 AVコーナー

(ア) ソフト保有本数 (LD・DVD)

(平成25年3月31日現在)

種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数	合 計
郷土に輝く人々 市町村紹介ビデオ	56	アニメ	329	洋画	382	1,500
邦画	215	音楽	58	その他	460	

(イ) 利用状況

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

種 別	LD教材	DVD教材	CD・ビデオ	合 計
回 数	47	4,664	64	4,775

11 視聴覚教材コーナー

(ア) 保有本数

(平成25年3月31日現在)

16ミリ映画	ビデオ教材	DVD教材	合 計
2,298	3,263	758	6,319

(イ) 貸出状況

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用本数(本)	DVD教材	50	80	121	85	128	60	87	78	91	55	53	32	920
	VHS教材	28	57	67	33	49	47	58	39	64	28	23	17	510
	16ミリ映画	1	1	1	8	12	1	2	1	2	2	1	1	33
	計	79	138	189	126	189	108	147	118	157	85	77	50	1,463
閲覧者数(人)	DVD教材	4,267	6,969	14,154	6,662	10,148	6,554	13,824	4,991	8,676	7,571	8,326	2,436	94,578
	VHS教材	7,178	5,555	5,703	3,495	2,459	4,573	7,371	5,037	5,574	3,621	3,137	1,719	55,422
	16ミリ映画	84	80	119	794	818	112	281	128	298	277	97	79	3,167
	計	11,529	12,604	19,976	10,951	13,425	11,239	21,476	10,156	14,548	11,469	11,560	4,234	153,167

6 関係条例及び規則

岡山県生涯学習センター条例

平成8年12月24日
岡山県条例第39号

(目的及び設置)

第1条 県民の生涯にわたる学習活動(次条において「生涯学習」という。)の振興を図るため、岡山県生涯学習センター(以下「センター」という。)を岡山市に設置する。

(業務)

第2条 センターは、前条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- (1) 生涯学習指導者の養成及び生涯学習関係者の研修
- (2) 生涯学習に関する情報の収集及び提供並びに生涯学習相談
- (3) 生涯学習に関する講座の開設
- (4) 生涯学習に関する調査及び研究
- (5) 科学に関する学習の機会の提供
- (6) センターの施設及び設備(以下「施設等」という。)の提供
- (7) 前各号に掲げるもののほか、センターの目的の達成に必要な業務

(開所時間及び休所日)

第3条 センターの開所時間及び休所日は、教育委員会規則で定める。

(指定管理者による管理)

第4条 センターの管理に関する業務のうち次条に規定する業務は、第13条第1項の規定により岡山県教育委員会(以下「教育委員会」という。)が指定するもの(以下「指定管理者」という。)に行わせるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第5条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 施設等の維持管理に関すること。
- (2) 施設等の利用の許可に関すること。
- (3) 施設等の提供に関すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、センターの運営に関し教育委員会が必要と認める業務

(利用等の許可)

第6条 センターにおいて次に掲げる行為をしようとする者は、教育委員会規則で定めるところにより、指定管理者の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

- (1) 別表の1から3までに掲げる施設等の利用
- (2) サイエンスドームにおける天体運行等の投影の観覧
- 2 指定管理者は、センターの管理上必要な範囲内で前項の許可に条件を付することができる。
- 3 指定管理者が別に定める観覧券により観覧しようとする者については、第1項第2号の観覧に係る許可を受けたものとみなす。

(入所の制限等)

第7条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、センターへの入所を拒否し、又はセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) 公共の秩序を乱し、又は善良の風俗を害するおそれがある者
- (2) 施設等を損傷するおそれがある者
- (3) 施設等の利用が、集団的に又は常習的に暴力的不法行為等を行うことを助長するおそれがある団体の利益になると認める者
- (4) その他センターの管理上支障があると認める者

(許可の取消し等)

第8条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、第6条第1項の許可を取り消し、若しくはその条件を変更し、又は行為の中止、原状回復若しくはセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) この条例若しくはこの条例に基づく教育委員会規則又はこれらの規定に基づく処分に違反している者
- (2) 偽りその他不正な手段により第6条第1項の許可を受けた者
- (3) 第6条第2項の条件に違反している者
- 2 指定管理者は、施設等に関する工事のためその他公益上やむを得ない必要が生じたときは、第6条第1項の許可を受けた者(次条において「利用者」という。)に対して、同項の許可を取り消し、又はその条件を変更することができる。

(利用料金)

第9条 第6条第1項の許可を受けた行為に係る料金(以下この条において「利用料金」という。)は、指定管理者にその収入として収受させる。

- 2 利用料金は、別表に掲げる基準額に0.5を乗じて得た額から当該基準額に1.5を乗じて得た額までの範囲内の額で指定管理者が知事の承認を受けて定める額とする。
- 3 利用者は、指定管理者に利用料金を前納しなければならない。ただし、指定管理者が別に納期を定めたときは、この限りでない。
- 4 指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ知事の承認を受け、利用料金を減免することができる。
- 5 納付した利用料金は、返還しない。ただし、利用者の責めに帰することができない理由により許可を受けた施設等を利用することができなくなったときその他指定管理者が相当の理由があると認めるときは、この限りでない。

(職員)

第10条 センターに、所長その他必要な職員を置く。

(指定管理者の公募)

第11条 教育委員会は、指定管理者の指定をしようとするときは、教育委員会規則で定めるところにより、当該指定を受けようとするものを公募するものとする。ただし、特別の理由がある場合は、この限りでない。

(指定管理者の指定の申請)

第12条 指定管理者の指定を受けようとするものは、センターの管理に係る事業計画書その他教育委員会規則で定める書類を添えて、教育委員会に申請しなければならない。

(指定管理者の指定)

第13条 教育委員会は、次の各号のいずれにも該当するもののうちから最も適当と認めるものを指定管理者として指定するものとする。

- (1) 事業計画の内容が住民の平等な利用を確保することができるものであること。
- (2) 事業計画の内容がセンターの機能を最大限に発揮させるとともに、その管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (3) 事業計画に沿った管理を安定して行うことができるものであること。

(4) その他センターの業務を効果的に行うため教育委員会が必要と認める基準に適合するものであること。

2 教育委員会は、前項の規定による指定をしたときは、その旨を告示するものとする。

(事業報告書の提出)

第14条 指定管理者は、教育委員会規則で定めるところにより、事業報告書を作成し、教育委員会に提出しなければならない。

(業務報告等)

第15条 教育委員会は、センターの管理の適正を期するため、指定管理者に対して、当該管理の業務又は経理の状況に関し報告を求め、実地について調査し、又は必要な指示をすることができる。

(指定の取消し等)

第16条 教育委員会は、指定管理者が前条の指示に従わないときその他当該指定管理者による管理を継続することが適当でないと認めるときは、その指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ずることができる。

2 教育委員会は、前項の規定による指定の取消しをしたときは、その旨を告示するものとする。

(教育委員会規則への委任)

第17条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、平成9年1月1日から施行する。

(中略)

附 則

この条例は、平成25年4月1日から施行する。

岡山県生涯学習センター条例 別表（第6条、第9条関係）

1 施設

区 分	基 準 額					
	午前9時から 正午まで	午後1時から 午後5時まで	午後6時から 午後9時まで	午前9時から 午後5時まで	午後1時から 午後9時まで	午前9時から 午後9時まで
視聴覚室	5,250円	7,010円	5,250円	13,900円	13,900円	20,900円
大研修室	4,900円	6,540円	4,900円	13,000円	13,000円	19,500円
洋研修室	790円	1,060円	790円	2,140円	2,140円	3,210円
和研修室	570円	760円	570円	1,530円	1,530円	2,320円
ミーティング室1	500円	660円	500円	1,350円	1,350円	2,020円
ミーティング室2	380円	520円	380円	1,040円	1,040円	1,590円
ミーティング室3	500円	660円	500円	1,350円	1,350円	2,020円
ミーティング室4	690円	920円	690円	1,870円	1,870円	2,800円
ミーティング室5	990円	1,320円	990円	2,690円	2,690円	4,030円
美術教室	2,730円	3,640円	2,730円	7,310円	7,310円	10,900円
木工教室	900円	1,210円	900円	2,420円	2,420円	3,640円
陶芸教室	750円	990円	750円	2,010円	2,010円	3,050円
書道教室	1,140円	1,520円	1,140円	3,070円	3,070円	4,610円
パソコン教室1	6,910円	9,220円	6,910円	18,400円	18,400円	27,600円
パソコン教室2	2,900円	3,880円	2,900円	7,760円	7,760円	11,600円
ボランティア室	690円	920円	690円	1,870円	1,870円	2,800円
録画・録音 スタジオ	録画を目的とする場合 4,350円	録画を目的とする場合 5,800円	録画を目的とする場合 4,350円	録画を目的とする場合 11,500円	録画を目的とする場合 11,500円	録画を目的とする場合 17,400円
	録音を目的とする場合 2,390円	録音を目的とする場合 3,200円	録音を目的とする場合 2,390円	録音を目的とする場合 6,440円	録音を目的とする場合 6,440円	録音を目的とする場合 9,670円
試写室	1,320円	1,760円	1,320円	3,540円	3,540円	5,340円
編集室	540円	720円	540円	1,450円	1,450円	2,200円
サイエンス ドーム	投影装置を使用する場合 47,640円	投影装置を使用する場合 63,520円	投影装置を使用する場合 47,640円	投影装置を使用する場合 127,040円	投影装置を使用する場合 127,040円	投影装置を使用する場合 190,560円
	投影装置を使用しない場合 8,280円	投影装置を使用しない場合 11,040円	投影装置を使用しない場合 8,280円	投影装置を使用しない場合 22,080円	投影装置を使用しない場合 22,080円	投影装置を使用しない場合 33,120円
科学体験・学習広場	5,400円	7,200円	5,400円	14,400円	14,400円	21,600円
企画展示室	1,980円	2,640円	1,980円	5,280円	5,280円	7,920円
プロデュースセンター	1,620円	2,160円	1,620円	4,320円	4,320円	6,480円

備考 この表に掲げる時間帯の利用に併せて、正午から午後1時まで又は午後5時から午後6時までの時間帯に利用する場合における利用料金は、午後1時から午後5時までの欄に掲げる額に4分の1を乗じて得た額（その額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を10円に切り上げた額）とする。

2 冷暖房設備（1時間につき）

区 分	基 準 額	
	冷房設備	暖房設備
視聴覚室	620円	520円
大研修室	620円	520円
洋研修室	80円	60円
和研修室	80円	60円
ミーティング室1	70円	50円
ミーティング室2	50円	40円
ミーティング室3	70円	50円
ミーティング室4	90円	80円
ミーティング室5	130円	110円
美術教室	380円	310円
木工教室	90円	70円
陶芸教室	90円	70円
書道教室	150円	130円
パソコン教室1	270円	220円
パソコン教室2	150円	130円
ボランティア室	90円	80円
録画・録音スタジオ	270円	220円
試写室	150円	130円
編集室	50円	40円
サイエンスドーム	1,130円	1,060円
科学体験・学習広場	400円	310円
企画展示室	170円	130円
プロデュースセンター	120円	100円

備考 利用時間が1時間未満であるとき又は利用時間に1時間未満の端数があるときは、その利用時間又はその端数時間を1時間として計算する。

3 設備金額

区 分	単 位	基 準 額
放送設備	1式1時間につき	370円
スポットライト	1式1時間につき	210円
資料提示装置	1台1時間につき	140円
液晶プロジェクター	1台1時間につき	230円
茶道具	1式1時間につき	680円
ピアノ	1台1時間につき	960円
陶芸窯	1台1時間につき	870円

備考 利用時間が1時間未満であるとき又は利用時間に1時間未満の端数があるときは、その利用時間又はその端数時間を1時間として計算する。

4 観覧料（1人1回につき）

区 分	基 準 額		
	個 人	責任者が引率する 30人以上の団体	
65歳未満の者	小学生・中学生	100円	80円
	高校生	300円	240円
	その他の者	500円	400円
65歳以上の者		300円	240円

備考
1 学齢未満の者の観覧料は、無料とする。
2 小学の生・中学生とは、小学校の児童、中学校及び中等教育学校（前期課程に係るものに限る。）の生徒その他これらに準ずる者をいう。
3 高校生とは、高等学校及び中等教育学校（後期課程に係るものに限る。）の生徒その他これらに準ずる者をいう。

岡山県生涯学習センター条例施行規則

〔平成8年12月24日
岡山県教育委員会規則第19号〕

(趣 旨)

第1条 この規則は、岡山県生涯学習センター条例(平成8年岡山県条例第39号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開 所 時 間)

第2条 岡山県生涯学習センター(以下「センター」という。)の開所時間は、次のとおりとする。

区 分		開所時間
児童遊園地		午前9時から午後5時まで
その他の区域	火曜日から土曜日まで(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)を除く。)	午前9時から午後9時まで
	日曜日及び休日	午前9時から午後5時まで

2 前項の規定にかかわらず、岡山県教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、必要があると認めるときは、開所時間を臨時に変更することができる。この場合においては、あらかじめその旨をセンターの掲示板に公示するものとする。

(休 所 日)

第3条 センターの休所日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(その日が休日に当たるときを除く)
- (2) 休日の翌日(その日が休日でない火曜日から金曜日までに当たるときに限る。)
- (3) 12月28日から翌年の1月4日まで

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会は、必要があると認めるときは、休所日に開所し、又は臨時に休所日を定めることができる。この場合においては、あらかじめその旨をセンターの掲示板に公示するものとする。

(天体運行等の投影の回数等)

第4条 サイエンスドームにおける天体運行等の投影の回数及び開始時刻は、指定管理者(条例第4条に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)が教育委員会の承認を受けて定めるものとする。

(利用の許可の申請)

第5条 条例第六条第一項の規定により、条例別表に掲げる施設若しくは設備(以下「施設等」という。)の利用の許可又は許可を受けた事項の変更の許可を受けようとする者は、指定管理者が教育委員会の承認を受けて定める申請書を指定管理者に提出しなければならない。

(利用者等の遵守事項)

第6条 条例第六条第一項の許可を受けた者(以下「利用者」という。)は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。利用者の行う行事等のために入所する者も、同様とする。

- (1) 利用の許可を受けた施設以外の施設に立ち入らないこと。
- (2) 利用の許可を受けた設備以外の設備を利用しないこと。
- (3) 火災、盗難等の事故の発生予防に留意すること。
- (4) センターの職員又は指定管理者の指示に従うこと。
- (5) その他教育委員会又は指定管理者が必要と認める事項

(損壊の届出等)

第7条 利用者は、施設等を損壊し、又は滅失したときは、直ちに教育委員会又は指定管理者に届け出てその指示に従わなければならない。

(利用の終了の届出)

第8条 利用者(条例第6条第1項第2号の観覧に係る許可を受けた者を除く。)は、施設等の利用を終了したときは、速やかに指定管理者に届け出なければならない。

(視聴覚教材等の貸出し)

第9条 視聴覚教材及び視聴覚機材の貸出しは、生涯学習の目的のために利用する場合に限り、行うものとする。

2 前項の貸出しを受けようとする者は、指定管理者が教育委員会の承認を受けて定める申請書を指定管理者に提出しなければならない。

(そ の 他)

第10条 この規則に定めるもののほか、センターの管理及び運営に関し必要な事項は、教育委員会、所長又は教育委員会の承認を受けて指定管理者が別に定める。

附 則

この規則は、平成9年1月1日から施行する。

(中略)

附 則

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

利用案内

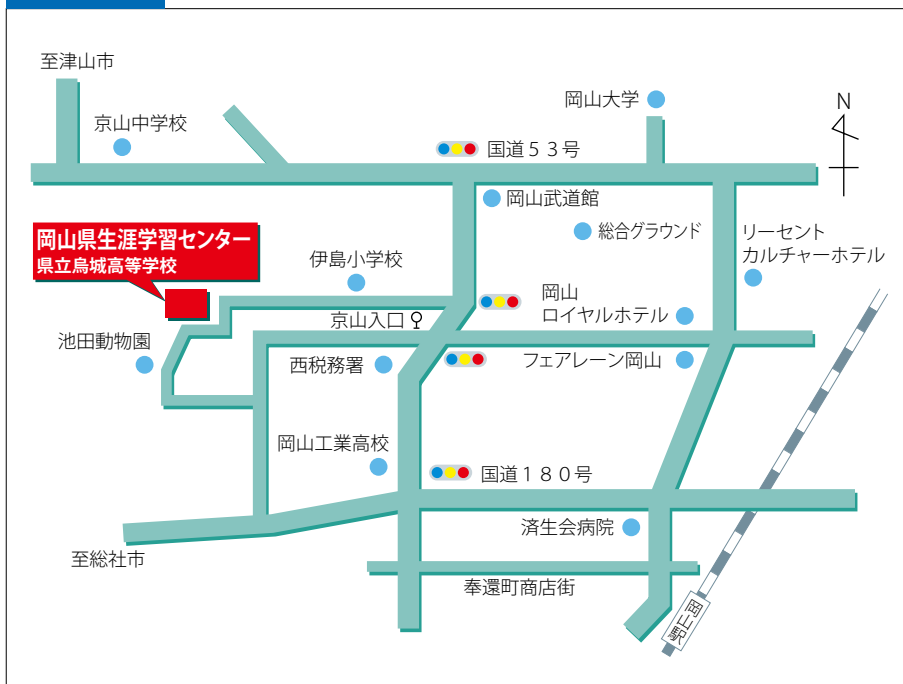
開所時間

- 火曜日～土曜日／午前9時から午後9時まで
- 日曜日・祝日／午前9時から午後5時まで

休所日

- 月曜日（その日が祝日に当たるときを除く。）
- 祝日の翌日（その日が祝日でない火曜日から金曜日までに当たるときに限る）
- 12月28日から翌年の1月4日まで

交通案内



交通案内

- 車利用
 - J R岡山駅西口から約5分
 - 山陽自動車道岡山ICから約10分
- バス利用
 - 岡電バス J R岡山駅西口から中央病院線京山入口下車徒歩8分（所要時間約13分）
- 徒歩
 - J R岡山駅西口から約25分（約1.7km）

岡山県生涯学習センター

〒700-0016 岡山市北区伊島町3丁目1-1 TEL.086-251-9750（代表） FAX.086-251-9757